

令和7年9月19日

紛争・災害下の海外選手の国際大会出場に向けたトレーニング支援 - Sport for Tomorrow 令和7年度活動・取材案内 -

スポーツ庁は、あらゆる国々や世代にスポーツの価値を広めることを目的とするスポーツ国際交流・協力事業 Sport for Tomorrow（スポーツ・フォー・トゥモロー）の一環（※）として、紛争や災害など国内の情勢により自国内で十分な練習環境が確保できない海外アスリート等を日本に招へいし、練習環境の提供や国際大会への出場等を支援します。

（※）予算事業名：令和7年度ポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業（国際情勢に応じた海外アスリート等支援事業）

事業概要 ※9月19日時点の予定であり今後変更・追加となる可能性があります。

【事業タイプA】オリンピック競技

委託先：日本オリンピック委員会

競技種目	招へい国	招へい者	内容	選手団滞在日程	実施場所	連携団体
サッカー	パレスチナ	約10名 (選手・コーチ)	合宿	2025年10月下旬	福島県	(公財)日本サッカー協会
柔道	ウクライナ	約20名 (選手・コーチ・NF役員)	合宿	2025年9月22日 ～10月12日	東京都 静岡県 奈良県	(公財)全日本柔道連盟
フェンシング	ウクライナ	8名 (選手・コーチ)	合宿・ 大会参加	2025年11月29日 ～12月8日	東京都 福岡県	(公社)日本フェンシング協会
新体操	ウクライナ	約30名(選手、監督・ コーチ等)	合宿・ 大会参加	2026年1月中旬 ～2月中旬	群馬県	(公財)日本体操協会

<取材について>

- ・詳細が決まり次第、各連携団体より、報道発表予定
- ・事業タイプAの取材に関する問い合わせ先

公益財団法人日本オリンピック委員会 広報部
Tel: 03-6910-5954 / Mail: pressoffice@joc.or.jp
Web: www.joc.or.jp

<取材可能な活動（9月19日時点）>

ウクライナ 柔道

日程：2025年9月25日（木） 13:30～14:30

場所：講道館新館 6 階「国際部道場」（東京都文京区春日 1-16-30）

内容：井上康生氏による技講習会および囲み取材

報道受付：講道館新館 6 階（13:15～13:30）

申込締切：9月22日（月）17:00 まで

申込方法：[WEB フォーム](<https://form.run/@press-xao9r6bvashazwiCzh59>)

【事業タイプ B】パラリンピック競技

委託先：近畿日本ツーリスト株式会社

●招へい国・人数：

ウクライナ 選手3名、コーチ1名

バングラデシュ 選手2名、コーチ1名

ナイジェリア 選手2名、コーチ1名

●競技種目：

パラバドミントン

●滞在日程：

ウクライナ 2025年10月7日～11月9日

バングラデシュ 2025年10月24日～11月9日

ナイジェリア 2025年10月24日～11月9日

●支援内容：

- ・事前合宿（10月7日～11月4日）

学生との交流練習及び技術支援等（場所：東京都内の体育館、学校施設等）

※上記期間中、練習を行わない日（休息日・移動日等）も設ける予定

- ・大会出場（11月5日～11月9日）

JAPAN Para Badminton International への出場支援（場所：静岡県 このはなアリーナ）

- ・学校訪問・交流（10月17日（静岡県）・10月29日（東京都））

小学校に訪問し、スポーツ・文化交流機会の創出

<取材について>

- ・事業タイプ B の取材に関する問い合わせ先

KNT—CT ホールディングス株式会社 総務 CSR 部
 Tel: 03-5325-8547

【事業タイプ C】パラリンピック競技（大学スポーツ資源活用）

委託先：日本体育大学

●招へい国・人数：

パレスチナ 選手 1 名、コーチ 1 名、NPC 職員 1 名

イエメン 選手 1 名、コーチ 1 名

マラウイ 選手 2 名、コーチ 1 名

ザンビア 選手 2 名、コーチ 1 名

●競技種目：

パラ陸上競技

●滞在日程・場所：

2025 年 10 月 17 日～10 月 24 日

東京都（日本体育大学東京・世田谷キャンパス及びその周辺）

●支援内容（予定）：

10 月 18 日（土）小中学生との交流（ドワーフサッカー、地元小中学生）

10 月 19 日（日）メンタルリハーサル、トレーニング、レース準備

10 月 20 日（月）レース準備、国際大会を想定した模擬レースの実施

10 月 21 日（火）マッサージケア、レース振り返り、トレーニング

10 月 22 日（水）ジムセッション、トレーニング

10 月 23 日（木）トレーニング

10 月 24 日（金）振り返り、アクションプランニング

※予定は変更になる可能性があります。

<取材について>

・事業タイプ C の取材に関する問い合わせ先

日本体育大学 広報課 電話：03-5706-0948 / FAX: 03-5706-0922

URL: <https://www.nittai.ac.jp/contact.html> 「取材を希望される方へ」参照

取材をご希望される方は、取材申込み確認事項を明記した[取材申込書](#)（または企画書）を、原則 FAX にてお送りください。お急ぎの場合は、まず電話でご一報ください。

参考：Sport for Tomorrow とは

スポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）は、スポーツを通じた国際交流・協力を通じて、開発途上国をはじめとする世界のあらゆる世代の人々にスポーツの価値やオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げることをめざした取組です。SFT は、東京 2020 大会のスポーツ・レガシーを継承・発展させながら、これまでの取組を通じて認識された国内外のスポーツや社会におけるニーズや課題に向き合い、官民連携によるスポーツを通じた国際交流・協力をさらに推進していきます。

参考資料：別添「国際情勢に応じた海外アスリート等支援事業の概要・実績」

<担当> スポーツ庁参事官（国際担当）
専門官 庄司 正人（内線2648）
国際交流担当 松尾 安優子（内線3949）
電話：03-6734-3949（直通）

国際情勢に応じた海外アスリート等支援事業

事業概要

紛争や災害等により、自国内で十分な練習環境が確保できない海外アスリート等に対して国際競技大会への出場等を目的として日本国内で行う合宿やトレーニング等の支援を行う。2023年度から実施。

事業規模

約4,400万円（2025年度）

対象経費

日本への渡航費、日本国内の合宿費用、練習会場使用料、受入団体・自治体等との交流に要する経費 等

事業要件

次のいずれかの要件を満たすこと。

- ・日本オリンピック委員会または日本パラリンピック委員会加盟競技の国際競技連盟が主催又は公認等する大会への出場を含む活動
- ・日本オリンピック委員会または日本パラリンピック委員会加盟競技団体が主催、共催又は主管等する大会への出場を含む活動
- ・観客数10,000人以上または参加国数10か国以上が見込まれる大会への出場を含む活動
- ・相手国政府等からの書面での依頼が確認できるなど、スポーツ国際協力を通じて本邦のプレゼンス向上に資すると認められる活動

取組実績

2023年度	支援国	競技	2024年度	支援国	競技
オリンピック競技	ウクライナ	柔道・新体操・フェンシング	オリンピック競技	ウクライナ	サッカー・柔道・新体操・フェンシング
				パレスチナ	卓球・陸上競技
				レバノン	陸上競技
パラリンピック競技	ウクライナ	バドミントン・トライアスロン	パラリンピック競技	イエメン	陸上競技
				アフガニスタン	テコンドー

活動の様子



ウクライナ・柔道
講道館での技術指導・合同練習



アフガニスタン・パラテコンドー
大学生アスリートとの合同練習



イエメン・パラ陸上競技
帰国後に向けたアクションプランニング



ウクライナ・新体操
小学校見学会での演技披露



パレスチナ・パラ卓球/パラ陸上競技
特別支援学校の児童・生徒との交流